

# サイバーセキュリティ パートナーシップだより



インターネットバンキング不正送金で500万円の被害！！  
遠隔操作ソフトを悪用した**サポート詐欺**が発生！

県内において、**遠隔操作ソフト**を悪用され、インターネットバンキングから、預金の500万円を別口座に不正送金する**サポート詐欺**が発生しました。

## 事案概要

- ① **被害者**がパソコンでサイトを閲覧中、突然「ウイルスに感染した、すぐに電話してください」旨の**警告画面が出たため、表示された電話番号に電話した。**
- ② **犯人**が電話に出て「ウイルス除去のため、遠隔操作ソフトをインストールして、除去費用を支払うように」と要求された。
- ③ **被害者**は指示されるがまま、**遠隔操作ソフトをインストールし、犯人とパソコン画面が共有された状態で、インターネットバンキングにログイン後、振り込みに必要なワンタイムパスワードを入力**し、ウイルス除去名目費用として、5万円振り込んだ。
- ④ しかし、**犯人**から「お金が振り込まれていない、パスワードを間違えている」と言われたため、**被害者**は**複数回にわたり、ワンタイムパスワードを入力**した後、振込履歴を確認したところ、合計495万円が別口座に送金されている被害に気付いた。

## 遠隔操作ソフトとは???

自分の端末画面を、**遠隔地にいる第三者に画面共有することが可能**になるソフトで、リモートワークや通信事業者のユーザーサポート等多くの場面で使われる。

※ **画面共有する＝表示情報がすべて伝わり、個人情報悪用の恐れが！！**

## 被害防止対策

**「ウイルス感染した」と警告画面が表示されても、電話しない**

- ・ 警告画面の表示→電話をかけさせる手口は詐欺
- ・ 「警告画面」が出た時は、周囲のパソコンに詳しい人や、警察に相談する



山口県警察本部サイバー犯罪相談窓口  
TEL 083-922-8983

県警ホームページにて広報資料  
や動画を公開中です。  
(詳しくはQRコード参照)

